

うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会
発行／宇土市議会 平成20年11月15日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



ちびっこ太鼓 (ひかり保育園)



赤ちゃんハイハイ競争大会



勝利のポーズ(商工宣隊ウトレンジャー & 地蔵レンジャー)

10月26日、うと産業祭2008「わいわいフェスタ」が開催されました。宇土市の農産品、特産品の販売や赤ちゃんハイハイ競争大会、商工宣隊ウトレンジャーショーなど、様々なイベントが開催され、多くの人で賑わいました。

CONTENTS

- P 2 平成20年第3回定例会
- P 3 地産地消推進議員連盟による視察研修報告
- P 4 ～ 一般質問
- P 9 ～ 委員会報告
- P 11 議案・陳情等の議決結果
- P 12 「宇土市子ども議会」を開催
市議会からのお知らせ

平成20年 第3回定例会

第3回定例会を9月3日から19日まで17日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成20年度一般会計補正予算など予算関係7件、宇土市保育所負担金徴収条例の一部を改正する条例など条例関係5件、決算関係11件、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての人事案件1件、その他4件、議員提出議案として、宇土市議会会議規則の一部を改正する規則など4件の計32件が上程されました。その結果、決算認定10件については、決算審査特別委員会を設置、付託し、12月議会開会までの間、閉会中の継続審査とし、他の22議案については、原案のとおり決定しました。

なお、議案の主なものは下記のとおりです。

【議案の主なもの】

決算

◆平成19年度宇土市水道事業会計決算の認定について

地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。

総収益は4億436万円で、前年度より150万円の増、総費用は4億5626万円で、前年度より3343万円の増となっており、損益で5189万円の純損失である。

予算

◆平成20年度宇土市一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出それぞれ2117万7千円を減額し、総額を138億2120万4千円とする。補正の主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費2589万1千円の減額、宇土小学校用地拡張経費3851万円の増額である。

◆平成20年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ3119万7千円を追加し、総額を44億3109万

6千円とする。補正の主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費、退職被保険者等高額療養費の増額補正である。

条例

◆宇土市消防団員の定員、任免給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

消防団員数の変動に伴い、定員数を改めるもの。

- ・定員 610人↓613人
- ・施行日 平成20年10月1日



消防団夏季訓練

◆宇土市保育所負担金徴収条例の一部を改正する条例について

児童福祉法による保育所運営費国庫負担金についての一部改正、及び「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部改正により、保育料の軽減措置の対象が拡大されたことに伴い、条例を改正するもの。

- ・多子世帯に対する保育料の軽減措置の条件である就学前児童2人以上が入所・利用している施設として、これまでの保育所、幼稚園、認定こども園に、障害児通園施設などを追加
- ・中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律により支援給付を受けている世帯の保育料を、生活保護世帯と同様に無料とする。
- ・施行日 公布の日(平成20年4月1日から適用)

人事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

田代真知子(敬称略)

地産地消推進議員連盟による

視察研修報告

宇土市議会地産地消推進議員連盟（8人）では、「地産地消への取り組み」について、本年6月発足時からこれまで数回の協議を行ってきたところですが、去る9月24日（水）には、大分県豊後大野市へ視察研修を行いました。その概要は次のとおりでありました。

【視察先】

大分県豊後大野市三重町芦刈 金田むらづくり推進協議会

【取り組みの目的】

農産物直売所を消費者との交流拠点とし、地元農産物やその加工品の販売を通して農業の振興を図り、地域の活性化を目指す。

【取り組みの背景】

豊後大野市の金田地区は、水稻や葉たばこが主体で、野菜等は、ほとんどが自家消費用として栽培されていたが、平成6年度に地区全戸の合意形成の下、「金田むらづくり推進協議会」（営農・交流販売・加工・環境の4部会で構成）を発足させ、以来、農地の利用集積を始めとする集落営農に取り組んでいる。

こうした中、同協議会では農産物直売所がある他の地区では直売所を核に地区内が活性化していることに着目。そこで、会員から直売所の建設資金の一部として協力費1口5,000円を任意で募り、県の補助事業を受けて平成7年に同地区内の国道326号沿いに農産物直売所を設置し、少量でも出荷販売できる農産物等の直売活動に取り組むこととした。

【取り組みの概要】

「金田むらづくり推進協議会」は、平成7年11月に「金田ふれあい市場『よっちょくれ』」を開設し、同協議会の交流販売部の運営で農産物等の直売に取り組んでいる。

同市場には、同地区の農家25戸（専業6戸、兼業19戸）のうち15戸が、かんしょ、さといも、はくさい等の野菜や農産物及び農産加工品を出荷している。

また、同市場に併設されている加工所「いも庵」では、同協議会の加工部が地元農産物（さつまいもやにんじん）を使った「よっちょくれ団子」、「まんじゅう」及び「漬け物」等を製造しており、同市場の他、一部の商品は同市内の大型小売店等に出荷している。なお、消費者に安心できる商品を提供するため、加工品は着色料を使用しない手作りにこだわっている。





ウォーキングが“生活習慣病”予防の第一歩

特定健診・特定保健指導受診率向上への取り組み

特定健診・特定保健指導について



(無所属)

九谷新吾 議員

目的とし特定保健指導を実施していく。

九谷議員

日本人の死亡原因の約六割は生活習慣病が占めており、さらに、国民医療費の約三分の一が生活習慣病が原因となっている。本年スタートした特定健診制度導入の背景は。

九谷議員

受診申請の仕組み改善と一般医療機関で随時受け付け健診制度を導入し、受診率向上を目指すべきではないか。

前田保険課長

不適切な食生活や運動不足等の生活習慣がやがて糖尿病、高血圧症、肥満症等の生活習慣病の発症を招き、生活習慣の改善のないまま重症化し生活習慣病の外來受診率が徐々に増加している。特定健診の導入は、特に糖尿病等の生活習慣病に着目した健診項目の追加と生活習慣病の予防・改善を

前田保険課長

がん検診の複合検診に特定健診を同時に実施することや、主治医のいる医療機関での受診ができないか等を検討していく。また、本年度は希望者のみに受診券を発送したが、対象者全員への案内状の送付等ができないか検討していく。

九谷議員

特定保健指導の今後の具体的な計画として、民間スポーツクラブと連携し、生活習

慣に応じたプログラムで効果的な健康づくりサポートシステムを行ってはどうか。

前田保険課長

今後、特定保健指導対象者の増加が予測されることから、効果的・効率的な特定保健指導を行い、運動指導に關しては、運動習慣を継続させる受け皿として「うとスポーツクラブ」との連携を図りながら計画を進めていく。





地域フォーラムで「教育立市」についての提言

「教育立市うと」による魅力あるまちづくりを



(新世紀クラブ)

西山宗孝 議員

防災拠点となる公共施設の耐震化促進を

西山議員 学校を始めとした公共施設の耐震化状況は。

池田総務企画部長 本市には人が集まる特定施設として、法律によって耐震診断、改修が必要な建物が10施設（学校、市民会館等）。このほか新耐震基準によって建設されたもの（網田小・中学校ほか）や法的要件規模に該当しない施設も確認している。10施設についての耐震化状況は、市民会館が完了。花園小、鶴城中、住吉中の3校が本年度中に完了予定。下水処理場が22年度に、宇土小、網津小が23年度に完了予定。市民体育館、老人ホームの耐震診断を来年度に予定している。なお、市庁舎は「建替えの診断」もあり財政

的課題となっている。市内全小中学校は23年度には全て適合した建物となる。

民間建築物（住宅）の耐震推進も

西山議員 住宅の耐震対策について

簡易な補強や家具の転倒防止工事を施すだけでも効果があるが。
久多見建設部長 住宅相談窓口を設置し、耐震化の相談を受けている。今後関係団体等と連携しながら、住宅の耐震化を周知し、安全意識を高めていきたい。

「教育立市うと」の実現を目指して

西山議員 「教育立市プラン」

を策定中であるが策定状況を。

木下教育長 多くの市民、地域、関係機関の貴重な意見を広く集め、本市独自の「教育立市プラン」を策定し、「教育立市うと」の実現を目指したい。

西山議員 「定住都市づくり」

を目指す本市のまちづくり戦略として活用できる「教育立市プラン」にすべきと考えるが。

池田総務企画部長 具体的な施策については、総合計画との整合を図り、全庁的にも効果的な展開をしていきたい。「教育に熱心な宇土市」を「特性」として、その魅力を外に向け、大きくアピールできる貴重な機会として捉えている。

実効性のある教育立市プランを

西山議員 計画策定にあたっては、教育分野に加え、広くまちづくりの専門家を活用した実効性のあるものに。

木下教育長 幅広く専門家の意見なども反映した、効果が期待できるものを総力で策定したい。



稲刈り風景

宇土市農業へ単独支援を

限界集落への対応



(無所属)

村田宣雄 議員

「特別交付税」を配分する制度を発足させている。本市に活用できる事業を調査研究したい。

地産地消への取り組み

地産地消は幅広い課題があり、総合的な施策の構築が必要。プロジェクトチーム(庁内)を立ち上げ、今後、どのような取り組みを考えておられるのか。

太田副市長 教育委員会とも連携した庁内プロジェクトチームを立ち上げ、「国が示した地産地消推進行動計画」に呼応した宇土市としての特色ある事業展開を図りたい。

緊急宇土市農業への支援策

重油、肥料、生産資材等の高騰により、農業は危機

に直面している。国の緊急経済対策において農家自らの削減対策を求めているが、その対策の考え方。

田口市長 技術指導、施設園芸

に対する省エネ対策で支援できる可能性があるのではないかと。例えば、硬質フィルムを設置する、二重張りフィルムを敷く。土壌診断による肥料の節約効果。これらについて国が補助対象として打ち出しており、宇城地域2市3町で設置している高騰対策会議でも、十分に詰めていきたいと思っている。

村田議員 耕種農家、施設園芸

農家の削減対策の共通事項は、土壌診断経費と特に施肥改善に必要不可欠なものは堆肥の投与であり、土壌診断経費と堆肥のセット助成を要望した。

北部農免道路に関するアンケート調査

村田議員 調査の目的が不透明

で調査対象(走湯・緑川)の住民から市政に対する不信任感、財政への不安感、議会のチェック能力への批判の声がある。今後、この種の調査は慎重に取扱いされるよう指摘した。

村田議員 65歳以上の高齢者が人口の半数50%を超える限界集落と55歳以上の人口比率が50%を超える準限界集落の校区別実態は。

池田総務企画部長 7月末現在

で157行政区の内、限界集落地区は網田2ヶ所。準限界集落は宇土10ヶ所、花園1ヶ所、轟3ヶ所、網津9ヶ所、網田22ヶ所が該当。

村田議員 国の各省庁の動向を

踏まえ、今後どのような対応を考えておられるか。

池田総務企画部長 国は各省庁

が独自の支援策を講じており、特に総務省では住民の要望を聞いて活性化策を助言する「集落支援員制度」を自治体が導入して支援員を雇う市町村に対し、



窓口での受付状況

市民サービス向上を目指して

市民サービス向上について



(公明党)
芥川幸子 議員

理するなど、周知啓発を強化していただきたい。

小沢市民環境部長 本市のホームページや広報紙に掲載し、周知啓発に努める。

市民の健康予防について

芥川議員 県外で里帰り出産のため妊婦健診を希望する際、費用の助成をしていただきたい。

前田保険課長 妊婦の申請により、規定の5回分範囲内での償還払いとして対応できるように検討していきたい。

前田保険課長 本市として、国、県、他市町村の動向及び県内の医療機関の健診状況を調査し、検討していく。

芥川議員 子どもが歯科健診を受ける時、母親も歯科健診を無料で受けられないか。

前田保険課長 歯科健診は、1歳6ヶ月児と3歳児健診時に歯科健診が実施されているが、内科診察や身体測定、問診・保護者指導等も併せて実施しており、新たに母親の歯科健診を導入となると限られたスタッフと時間の中では無理が生じる。

芥川議員 子宮がん・乳がん健診の助成を増額してほしい。

前田保険課長 本年度から、本市単独で両方共に毎年補助対象として実施している。

また、妊婦健診5回助成の初回の健診項目の中に、「子宮頸がん」を追加実施している。今後とも、受診状況を分析しながら、サービスの充実を進めていきたいと考えている。

携帯電話リサイクルの推進について

池田総務企画部長 接遇レベル向上のため、市民からの意見、要望を聞くアンケート箱を設置し、その結果を職員研修等に活用していく。

芥川議員 携帯電話リサイクルについて、携帯電話は「捨ててはいけない物」として、廃棄する場合は購入したショップで処

芥川議員 妊婦健診助成の初回の健診項目に初妊婦を対象として、H T L V ー ー (ヒトレトロウイルス) の抗体検査の導入をお願いしたい。



施設園芸ハウス

原油高騰、物価高騰による市民への支援を



(日本共産党)

福田慧一 議員

原油高騰、生活物資高騰の対策について

ではないか。

直接補填は現時点では考えていないが、国、県などの省エネ補助事業を推進し、これら不足するところを市として支援していきたい。

福田議員

原油と穀物価格の急騰、それに伴い燃油や食料品が大幅に値上がりし、農業や漁業、中小業者の経営を圧迫し、市民生活に深刻な影響を与えている。実態調査と相談窓口の設置が必要ではないか。

那須福祉課長

市町村独自の支援策として「灯油給付券」や融資などの助成制度を設けているところもある。県内では、すでに菊池市が「地域商品券」発行の方針を表明している。本市においても県内自治体の状況を見極めながら検討していきたい。

園村経済部長

実態調査や相談窓口については、国や県などで行っており、これらの機関と協力しながら対応していきたい。また、庁内においては、関係部署等と連携を取り相談等の状況把握に努め、相談の手助けができるようにしたい。

福田議員

重油などの依存度が高い施設園芸、のり生産者など、原油高騰の影響を最も受け、個人の努力だけでは経営が維持できない状況におかれている。これまでの省エネ支援だけではなく、燃油代などの直接補填が必要ではないか。

福田議員

物価高騰は、わずかな年金で生活されている高齢者や母子家庭、生活困窮世帯ではより深刻である。冬場の灯油代助成など緊急な生活支援が必要

園村経済部長

原油高騰によりA重油は、この1年間で1・7倍になっている。資材等も大幅に値上がりし農漁業経営を圧迫している。市単独の燃油に対す

園村経済部長

設備、運転資金の活用について積極的に推進を図り、利子補給など特別支援も検討したい。

福田議員

重油やガスなどの光熱費の高騰や食材の相次ぐ値上げで、給食センター職員も大変苦勞されていると思うが、給食費の値上げをせず、児童、生徒が喜んで食べる給食を給食センターなどの努力で提供してもらいたい。

山内教育部長

教育委員会としては、現時点では給食費の改定は実施せず、栄養バランスを考慮した給食提供に努めたい。しかし、今後、燃料価格の高騰や食材の値上げが続けば、市の支援を検討したい。

9月10日に文教厚生委員会、11日に総務市民委員会、12日に経済建設委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



杉本信一委員長

付託されました案件は、条例関係4議案、予算関係1議案、その他1議案であります。

議案等の審査の過程において論議されました主なものをご報告申し上げます。

まず、宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例で、消防団員の定数を、610人から613人に改正するというところがあるが、たびたび条例を改正する必要があるので、多めに設定しておくことはできないのかとの質疑に対し、執行部から、消防団員の退職報奨金に関する負担金等においては、毎年、前年度10月1日の条例定数を根拠に負担金を算出することになつており、定数は、実人員数に即して定めるのが、最も合理的であることから、実人員数の変動に伴い、条例の改正をお願いするものであるとの答弁がありました。

次に、環境課からJAうき健康土づくりセンターの機械設備の故障に伴う生ごみ受入れについての説明がありましたので、ご報告いたします。

宇土市では、平成15年度から市民の協力をいただきながら、家庭の生ごみをJAうき健康土づくりセンターに処理委託を行っているところであるが、今年度に入り機械設備の故障が頻発し、現在は、稼働できない状況となっている。このような理由から、現在、生ごみは焼却処分しているところである。修理の見通しが、あと2〜3ヶ月ぐらいかかるとのことである。そこで、JAうきには、早急に修理を行い運転再開をするよう依頼しているが、復旧にはまだ時間がかかるため、近隣の類似のリサイクル会社への臨時委託も考慮にいれ、できるだけ早く宇土市の目指す資源循環の状態に戻したいと思うとの報告がありました。

以上が、論議された主な内容です。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



山村保夫委員長

付託されました案件は、予算関係4議案、決算認定1議案、その他3議案であります。

議案等の審査の過程において論議されました主なものをご報告申し上げます。

まず、平成19年度の水道事業会計決算について質疑がありました。収益的収支では、平成16年度以降、赤字が続いており、19年度は約5、200万円の赤字となつている状況で、走潟地区の一部供用開始に伴う収益が増加しても、厳しい状況であると思うが、今後の見通しをどのように考えているのかとの質疑に対し、執行部より、今後、数年間の企業による大型開発や宇土駅東の開発等により、使用量の増加に伴う給水収益の動向をみながら、財政課と協議を行い検討していきたいと思う。また、その間は一般会計からの繰り入れをお願いしたいと考えているとの答弁がありました。

また、平成19年度決算では、有効率は77%、有効率は84%と7%の差があるが、低い有効率を上げるための方策を考え、

計画的な取り組みを行う必要があるとの意見に対しては、熊本県下14市の有効率の平均が約90%であるので、これを目標に不明水16%の漏水調査を強化して、有効率の向上を目指したいとの答弁がありました。

次に、一般会計補正予算の道路維持費1、000万円の増額補正についてですが、緊縮財政の中、厳しい状況ではあるが、道路整備に対する地域住民からの要望は多く、緊急性を必要とする場合や環境整備の観点から、今後も道路維持費の予算確保をお願いしたいとの意見がありました。

次に、公共下水道終末処理場の建設工事委託については、研修会などで、経費削減についての方策や意見交換を行い、他市の例を研究し、工事内容によっては、民間コンサルタントに委託するか日本下水道事業団に委託するか検討する必要がある。また、今後は、職員の意識や技術力を向上させ、直営で工事監理できるような努力していかなければいけないとの意見がありました。

以上が、論議された主な内容です。本委員会に付託を受けました議案第74号は賛成多数で、そのほかの議案については全会一致で原案のとおり認定及び可決いたしました。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



九谷新吾委員長

付託されました案件は、条例関係1議案、予算関係4議案、陳情1件であります。

議案等の審査の過程において論議されました主なものをご報告申し上げます。まず、今回の補正予算に計上されている「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」これは、県の100%委託事業ということだが、事業内容はどのようなものかとの質疑があり、執行部から、宇土市が県内で唯一モデル地域の指定を受けている事業。医師や校長、養護教諭、教育委員会で、実行委員会を組織し、子どもの様々な心身の健康問題に対応し、地域の実情を踏まえた心の健康づくりに関する実践計画の作成。学校に対しての専門医の派遣。地域又は学校において心の健康づくり研究会等の開催などを行う事業との答弁がありました。

これに関連して、半年が過ぎて、あと半年でこの事業を行うのは、職員にとって負担が大きいと思うが、年度内に事業を終了させるためどのように考えているのかとの質疑があり、執行部から、この事業を通して、子どもの健康に関し、いろいろ出てくる課題は、今後の文科省の施策につながって行く大事な事業なので、事業期間が短くなっているが、学校との連携を密にしながら取り組んでいきたいとの答弁がありました。

次に、保育所負担金徴収条例の改正について、今回の改正により、多子世帯に対する保育料の軽減措置の条件である就学前児童2人以上が入所・利用している施設として、これまでの保育所、幼稚園、認定子ども園に、障害児通園施設などを追加することや、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律により支援給付を受けている世帯の保育料を生活保護世帯と同様に無料とすることにより、保育料の軽減措置の対象が拡大されたと言う事だが、この改正で新しく該当する方はどのくらいおられるのかとの質疑があり、執行部から、現在、保育所に通園しながら障害児通園施設などを利用されている方はいらっしゃるようですが、今回の条例改正に伴い新しく該当された方は宇土市ではおられませんとの答弁がありました。

以上が、論議された主な内容です。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決。また陳情第3号については、全会一致で採択いたしました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会報告



岩本廣海委員長

9月4日、執行部出席のもと本特別委員会を開催しました。

まず7月11日に、網田地区の地域高規格道路（城塚～網田区間）整備促進期成会と合同で、熊本県、国交省熊本河川国道事務所及び国交省九州地方整備局に対する要望活動を行いました。この官民一体となった取り組みは、今年度初めて行ったもので、地元の積極的な姿勢をアピールできたと考えております。そして、7月17日には地元選出国会議員及び国土交通省本省への要望活動を行い、要望重点事項についての説明を申し上げ、さらなる予算の確保をお願いいたしました。

次に、現在までの取り組み状況及び国交省熊本河川国道事務所との協議内容について、執行部より説明がありました。

まず、用地買収の状況についてですが、宇土市側においては、前回報告から進捗はなく、熊本市側では、面積ベースで13,100㎡、15%の増加、地権者ベースで8人、7.4%の増加となっている。

宇土市域については、今年度、段階的に取得していく予定であり、現在、取得が困難な案件はない。

工事の状況については、9月に工用道路及び試験盛土の工事を1件発注する予定である。また、年度末に残った工予算で排水路の付け替え工事の発注を予定している。

橋梁タイプについては、橋梁検討委員会で合意を得ており、現在、河川との事前協議を進めているが、まだ発表できる段階にはないとのことでした。

以上の報告を踏まえ、委員会で論議されました、主な内容をご報告いたします。

委員より、国道3号松橋バイパスの拡幅工事に伴い、発生した土を地域高規格道路の建設工事用として活用するとのことであるが、搬入状況はどうなっているのかとの質疑に対し、すでに搬入を開始しているが、本格的には9月中旬から行い、総計で2万㎡の土砂を搬入予定であるとの説明が執行部よりありました。

最後に今後の取り組みといたしまして、熊本宇土道路の早期整備と、網田・城塚間の1日も早い整備区間への格上げを目指して、頑張ってまいりたいと思っております。

平成20年第3回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果	付託委員会
第74号	平成19年度宇土市水道事業会計決算の認定について	9月3日	9月19日	原案認定	経済建設
第75号	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例について	〃	〃	原案可決	総務市民
第76号	宇土市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例及び公益法人等への宇土市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第77号	宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第78号	宇土市保育所負担金徴収条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	文教厚生
第79号	宇土市監査委員条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	総務市民
第80号	宇土市土地開発公社定款の一部変更について	〃	〃	〃	経済建設
第81号	宇城広域連合を組織する地方公共団体の数の増減、処理する事務の変更及び規約の一部変更について	〃	〃	〃	総務市民
第82号	宇土市道路線の廃止について	〃	〃	〃	経済建設
第83号	宇土市道路線の認定について	〃	〃	〃	〃
第84号	平成20年度宇土市一般会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第85号	平成20年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第86号	平成20年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	経済建設
第87号	平成20年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	経済建設
第88号	平成20年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第89号	平成20年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第90号	平成20年度宇土市水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	経済建設
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9月19日	〃	原案答申	

【議員提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果
発議第5号	宇土市議会会議規則の一部を改正する規則について	9月19日	9月19日	原案可決
発議第6号	原油価格高騰に対する国の緊急対策を求める意見書について	〃	〃	〃

【議員派遣の件】

目的	提案月日	議決月日	議決の結果
地産地消の取り組み状況等についての視察研修のため	9月19日	9月19日	原案可決
第238回熊本県市議会議長会出席のため	〃	〃	〃

【報告】

報告番号	件名	報告月日
第8号	平成19年度宇土市財政の健全化判断比率について	9月3日
第9号	平成19年度宇土市簡易水道事業資金不足比率について	9月3日
第10号	平成19年度宇土市公共下水道事業資金不足比率について	9月3日
第11号	平成19年度宇土市漁業集落排水施設整備事業資金不足比率について	9月3日
第12号	平成19年度宇土市水道事業資金不足比率について	9月3日

平成20年第3回定例会陳情議決結果

	受理番号	陳情の件名	付託委員会	議決結果
陳情	平成20年 3	要請書について (シルバー人材センター事業の発展が図られるよう支援と協力を要請)	文教厚生	採択

『宇土市子ども議会』を開催

8月22日(金)、市議会議場において、小・中学校の児童・生徒の代表者23人が参加し、「宇土市子ども議会」を開催しました。

子ども議員は、公共施設や歩道等のバリアフリー化計画、特色ある教育についてなど、身近な問題から自分たちが暮らす地域の諸問題や将来のまちづくりについて、子どもの自由な発想や視点から捉えた質問を行い、市執行部が親切、丁寧に答弁しました。

また、質問終了後に3人の子ども議員が、宇土市が目指している「教育立市」との実現に向けて、五つの誓いを宣言しました。

「教育立市」と「子ども宣言」

- 一 わたしたちは、生命や自然を大切に
し、美しい環境をまもりまします。
- 一 わたしたちは、宇土市の歴史と伝統
文化を学び、生きる力で未来につな
ぎます。
- 一 わたしたちは、世界に羽ばたく人
になるため、心身をきたえ、大きな夢と
明るい希望を胸にいだいて、しっかり
勉強します。
- 一 わたしたちは、気持ちのよい「あい
さつ」を心がけ、世界一のあいさつの
まちづくりをめざします。
- 一 わたしたちは、きまりを守り、思い
やりの心を大切にし、安全なまちづく
りにつとめます。



編 集 後 記

議会だより編集委員として2年間、委員会では他市の議会だよりの情報収集や市民のご意見に耳を傾け、議会唯一の情報誌として、より読みやすい紙面づくりに努めてまいりました。

本編集委員は、第23号発行を最後に次回号から新しい編集委員に代わります。どうか今後もご愛読と共に市民の皆様のご意見や批評をお寄せください。



編集委員
委員 長：北村静剛 委 員：杉本信一
副委員長：山村保夫 “ 九谷新吾

市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議の議事録を公開しております。

公開内容は、本会議(定例会・臨時会)の議事録です。

[アドレス] <http://www.city.uto.kumamoto.jp>

[お問い合わせ] 0964-22-1111 内線261

本会議の議事録(冊子)は、市情報公開コーナー(市役所1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成20年第3回定例会の議事録は、次回、平成20年第4回定例会以降、閲覧可能です。

◎生中継(ライブ放送)

議会開会中、本会議(定例会・臨時会)の様態を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。